

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年5月31日

1 事業名	健診推進事業	コード	42101
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 上原 幸代
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	保健・医療の充実	施策	予防対策の推進
		予算科目	健診推進事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	健康増進法、がん対策基本法		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	各種健診（後期高齢者健診、成人歯科健診、緑内障検診等）を実施する。各種がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）を実施する。		
目的	対象者	市民	
	意図	疾病の早期発見と早期治療並びに疾病の予防を図る。	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>胃、大腸、肺のがん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診を岡谷市民病院に委託し、同一会場で実施した。また、肺がんCT、子宮、乳がん検診を長野県健康づくり事業団に委託し、保健センター、支所、各区公会所、市内医療機関（子宮頸がん）で実施した（受診者数 胃がん899人、大腸がん1,890人、肺がん1,275人、肺CT408人、乳がん1,511人、子宮頸がん1,062人、ABC検診159人、結核健診51人）。</li> <li>基本健診を長野県健康づくり事業団に委託して、受診機会の少ない35～39歳の市民を対象に保健センターで実施した（受診者数26人）。</li> <li>後期高齢者健診を岡谷市医師会に委託し、市内医療機関で実施した（受診者数588人）。後期高齢者人間ドックを市内4医療機関に委託し、また、それ以外の医療機関で受診した者に補助し、健康増進を図った（委託 日帰り49人、1泊2日8人、補助 日帰り22人、1泊2日4人）。</li> <li>成人歯科健診を岡谷下諏訪歯科医師会に委託し、下諏訪町と相互乗り入れで市町内の歯科診療所で実施した（受診者数190人）。</li> <li>二十歳の歯科健康診査を実施した（受診者数56人）。</li> <li>三十歳の歯科健康診査を平成29年度から実施した（受診者数19人）。</li> <li>緑内障検診を岡谷市医師会に委託して、市内医療機関で実施した（受診者数903人）。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>胃、大腸、肺がん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診をセット検診として同一会場で実施した。</li> <li>基本健診を国保の日曜日健診（1日）と合わせて実施するとともに、がん検診（胃・大腸・肺CT）を日曜日（1日）に実施した。</li> <li>30歳を対象とした歯科健康診査を実施することとした。</li> </ul>		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	年間総受診者数			単位	人
実績値	10,073	10,312	9,120		
*指標の説明	がん検診等の受診者数				
② 成果指標（指標名）	がん検診の要精検者の受診率			単位	%
目標値	91	95	95	95	
実績値	87	88	88		
達成度	95.6%	92.6%	92.6%		
*指標の説明	がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）の精密検査対象者の精密検査受診率の平均値				
*目標値の設定方法の説明	第4次岡谷市総合計画の目標値				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	50,939,749	50,401,497	46,751,365	51,551,000
経常経費	46,561,422	50,401,497	46,751,365	51,551,000
臨時的経費	4,378,327	0	0	0
* 臨時的経費の説明	働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業分（平成27年度まで）			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000
正規職員の人数(人)	0.58	0.58	0.58	0.58
③ 合計コスト(①+②)	55,579,749	55,041,497	51,391,365	56,191,000
前年度比		99.0%	93.4%	109.3%
財源				
一般財源	45,571,149	44,587,676	42,211,951	43,981,000
内訳				
特定財源	10,008,600	10,453,821	9,179,414	12,210,000
* 特定財源の説明	県補助金、検診徴収金、広告料収入、後期高齢者広域連合補助金・交付金			
④ 活動一単位あたりコスト	5,083	5,338	5,635	
前年度比		105.0%	105.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
人間ドック補助金	件数	24	26	26	25
	金額	420,000	450,000	450,000	450,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	420,000	450,000	450,000	450,000
	割合	0.82%	0.89%	0.96%	0.87%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	92.6%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	死因の1/3を占める「がん」の早期発見、早期治療を行うため、受診率の向上を図る。また、歯科健康診査の受診率が低いこと、年齢が若くなるほど受診率が低下することから、受診率の向上を図る必要がある。	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	受診率向上のため、市民への周知、啓発に努めるとともに、より受診しやすい健診体制の研究を引き続き行う。基本健診及びがん検診の日曜日の実施を継続する。また、肝炎対策事業として40歳を対象とした肝炎ウイルス検査の実施を検討する。	
	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---